

2013 年大学入試センター試験 【講評(速報)】 地 理 B

総論

大門数は 6、マーク数は昨年と同じ 35 であった。問題のレベルは昨年並みか、やや易化しており、60 分で十分に解答が可能である。出題分野は世界の自然環境、産業構造の変化と産業の立地、都市と村落・生活文化、地中海地域の地誌、現代世界における人口および民族の諸問題、徳島県鳴門市の地域調査であり、例年通り地理学習のほぼ全範囲からの総合的な出題となった。出題形式では、模式図・世界全図・グラフ・統計表・分布図・地形図・写真などを多用し、資料分析・活用能力を問う問題が多い。新しいタイプと言えるような問題も特に無く、慌てずに教科書レベルの知識を十分に活用すれば、対応可能な設問であった。

大問の分析

第 1 問 自然環境 (16 点)

難易度はやや易。大気大循環、低緯度地方の土壌と植生、合衆国内の月平均気温分布、島嶼部の特徴、海岸地形、地下水の利用形態など。

第 2 問 産業構造の変化と産業の立地 (18 点)

難易度は標準からやや易。日・米・中の産業別就業者割合、四カ国の第三次産業就業者割合と業種別構成比、工業品種別生産国、四カ国の GDP に占める各種研究開発費、日本に於ける製造業種別事業所数の、県別の全国に占める割合など。

第 3 問 都市と村落・生活文化 (17 点)

難易度は標準からやや易。四都市に於ける、外国人居住者・外国人居住者に占める留学生の割合等、四都市に於ける大企業の本社数・国際会議の開催数・高層ビルの数、村落の伝統的な形態と機能、メキシコシティに於ける都市構造、四カ国に於ける日刊新聞の特徴、四カ国の伝統衣装の特徴など。

第 4 問 地中海地域の地誌 (18 点)

難易度は標準からやや易。該当地域の自然地誌、四都市の月別気温と降水量、農産物の分布、三都市の工業、国別の観光客受け入れ数等、四カ国の食文化など。

第 5 問 現代世界における人口および民族の諸問題 (15 点)

難易度は標準。四地域の合計特殊出生率と高齢人口の割合、参加国の疾病率・喫煙率等、四カ国・地域の人口・食糧問題、民族紛争のパターン、三つの先住民の歴史と現状など。

第 6 問 徳島県鳴門市の地域調査 (16 点)

難易度はやや易。鳥瞰図の読み取り、三都市の月別日照時間、新旧地形図の比較、地形図・説明文・写真の組み合わせ、明石海峡大橋開通後の交通網と地域の変化など。

全般にわたって基本レベルであるだけに、問題をよく読んで安易なミスを防ぎたい。